

英コーンウォールで開催された先進7か国首脳会議（G7サミット）でソフトパワーを発揮し、国際社会の注目を浴びたのはキャリア・ジョンソンさん（33）でした。英首相ボリス・ジョンソン氏（57）と5月に結婚式を挙げたばかりで、昨年4月に

Style アイコン

生まれた第一子を伴って出席。各国のファーストレディーや王室メンバーに対して堂々と応対しました。

それもそれは、彼女はその道のプロです。保守党でコミュニケーション・ダイレクターにして報道官として活躍している時にジョンソン氏と出会っています。2012年、ロンドン市長選に氏を再選させることに貢献。その後もジ

借り物じゃない？ 政治力

ジョンソン氏の髪形やスーツを変え、氏が党内で地位を上げていく過程で大きな役割を果たしました。

2018年に2人の関係が発覚した時、ジョンソン氏には妻

【キャリア・ジョンソン】



右がキャリア・ジョンソンさん（ロイター）

と4人の子がいました。日本なら「不倫略奪」と叩かれるところですが、各国にはそれぞれの文化があるのでしよう、多少の「嵐」の期間を経てジョンソン氏の離婚は成立。キャリアは「公認のガールフレンド」のち婚約者として首相官邸に入り、出産、結婚と相成りました。

キャリアはファッションでも同世代を魅了し、多大な経済効果をもたらしています。

例えば、結婚式に着用したのは、クリストス・コスタレロスの3000ポンドのエディングドレスでしたが、45ポンドでレンタルしています。

タル会社によれば、その後、ウエディングドレスの問い合わせが3000%アップしたとのこと。G7で着た服もほぼすべてレンタルだったと報道されました。

これまで外交の場面で着用される服は、自国デザイナーの服を中心に、ホスト国に敬意を表した何らかのドレスを選ぶのがお約束で、レンタルなど恥ずかしいという価値観がありません。それをキャリアはあっさり覆したのです。

二度と着ない服であれば、レンタルのほうが地球にもやさしい。彼女が起こしたレンタル革命は、シェアをよしとする時代の価値観を読んだ上でのことでしょう。新世代の若き野心家は夫以上に「政治的」に見えます。（エッセイスト 中野香織）